

災害廃棄物の排出方法について

東日本大震災をはじめとする大規模災害では、被害が広範囲に及んだことで大量の廃棄物が発生し、これらを早期に処理することが復旧・復興における重要課題となりました。

実際に災害が発生した場合は、被災状況に応じた災害廃棄物の発生量を推計のうえ、仮置場を開設します。

災害廃棄物とは…

被災した家や建物などから発生する木くず、コンクリート、金属くず、畳、布団、家具、家電など

仮置場とは…

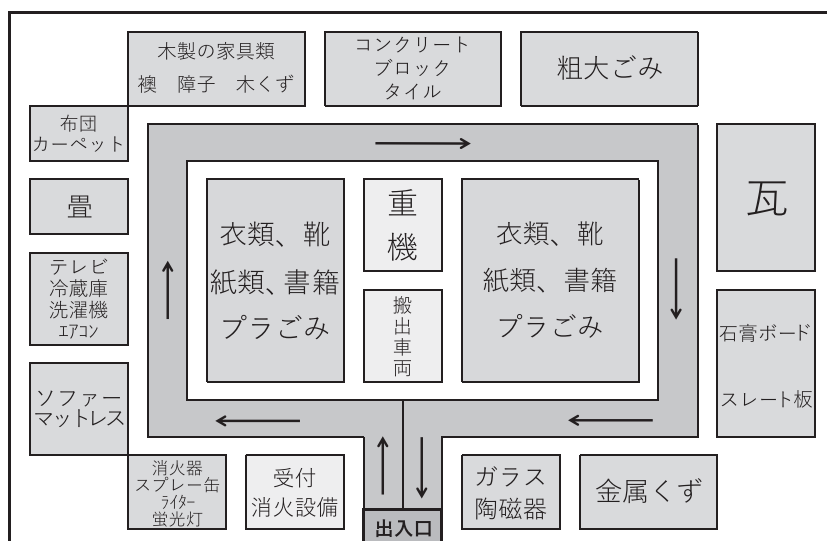
被災した建物などから撤去しがれきなどを一時保管したり、粗選別などを行う場所です。災害発生時は、廃棄物が大量に発生し、処理が追いつきません。

住宅の前の道路脇や通常のごみ集積所などに出すと、消防車・救急車などの緊急車両やごみ収集車の通行の妨げとなってしまいます。

災害発生後、速やかに仮置場を開設しますので、決められた仮置場に災害廃棄物を排出してください。

なお、廃棄物の処理に係る時間及び費用の増加、腐敗性廃棄物による悪臭や害虫の発生、ガスボンベなどによる火災の危険などが考えられるため、災害廃棄物は分別してください。

仮置場のレイアウトイメージ



問合せ 環境課環境衛生担当 内線282・283



ペット防災について



災害が発生した場合、あなたの大切なペットも被災します。

災害が原因で離れてしまったり、避難場所でのトラブルを避けるために、日頃から次のことを心掛けてください。

- ① トラブル防止のために、普段からしつけをしておきましょう。
- ② ペットがすぐに見つかるように首輪に名札・鑑札・狂犬病予防注射済票などを着けておきましょう。
- ③ 人に慣れさせておきましょう。
- ④ いっしょに避難しやすいように首輪や引き綱（リード）を嫌がらずに着ける習慣をつけましょう。
- ⑤ すぐに連れて逃げられるように檻（ケージ）やキャリーバッグを用意し、入ることに慣れさせておきましょう。
- ⑥ 災害発生時は感染症にかかる危険性が高まります。ワクチンの接種や寄生虫の駆除をしておきましょう。
- ⑦ ペットの写真や病気の記録などを用意しておきましょう。
- ⑧ 長期保存できる餌や薬などを用意しておきましょう。
- ⑨ 災害発生時のペットの取り扱いについて、ご近所とコミュニケーションをとっておきましょう。

問合せ 環境課環境衛生担当 内線282・283